

# 浜坂まち歩きコース

浜坂駅からあじわら小径を通り、海浜部を一周するルート。浜坂は砂州の上に発達したまちで、かつて高瀬舟が行き来した味原川沿いは、今でも旧家や古い石垣が続き、往時を偲ぶことができます。後半は、ユネスコ世界ジオパークである白砂青松の海浜部。絶景とさわやかな潮風が心地よい。コース上には足湯や温泉施設があり、気軽に温泉が楽しめます。

- 1 起終点のはれんのかかる「JR浜坂駅」。明治44年開業の鉄道基地として栄え、構内には名残の給水塔が目目を引く。鉄道グッズ館「鉄子の部屋」も併設している。駅前にあるまち歩き案内所「松籟庵」でマップをもらい、ルートを確認しよう。
- 2 駅前通りを直進して信号のある交差点を右折、郵便局に向かう路地を左折すると小川にあたる。これが味原川で、赤茶色の小径を下っていく。かつて高瀬舟が行き来し、今でも様々な時代の石垣が続いてみごとな景観を作り出している。井戸や洗い場もあり、水神様や観音様も祭られている。あじわら小径として親しまれている。
- 3 しばらく進むと、右手に山をイメージした「加藤文太郎記念図書館」が現れる。浜坂出身の孤高の登山家・加藤文太郎の資料が2階に展示されている。左の太鼓橋を渡り石畳の坂道を上ると右手には井戸・洗い場と西光寺、左手には旧森家を改修した先人記念館「以命亭」がある。ぜひ、「以命亭」には立ち寄りたいたいものだ。
- 4 以命亭を出て右に突き当たると日帰り温泉施設「ユートピア浜坂」で、温泉玉子を作ることができる湯つぼもある。ユートピアを出て左に下ると、すぐ右手に温泉源泉塔があり、温泉が湧いている。各戸配湯の源泉で、熱いので火傷に注意。あじわら小径に戻り、北へたどると船溜りー旧浜坂漁港が見えてくる。石の常夜燈は昔の灯台を模している。
- 5 あじわら小径を離れ、川沿いの舗装路を更に北へ進むと、前方に日本海が見えてくる。冬は怒涛が逆巻いている。右折すると海に近いが、直進する。少し坂道を登ると海の安全を守る「竜宮さま」がある。この付近は「漁師町」と呼ばれ、道が狭く入り組み、まるで迷路に入り込んだようだ。時間があれば歩いてみよう。
- 6 竜宮さまを西に進むと右手に日本海、左に松林が見えてくる。かつて浜坂海岸は広い砂丘に覆われていたが、昭和初期防風・坊砂林として松が植えられた。今では日本の白砂青松百選に選ばれ、絶好の散歩コースになっている。砂浜（浜坂県民サンビーチ）にはボードウォークが整備され、気持ちよく歩ける。ボードウォークの終点が山陰海岸ジオパーク館だ。日本海誕生のドラマが説明されている。
- 7 ジオパーク館を出てすぐ松林に沿って歩き、信号のある交差点を左折、しおかぜ通りの標識で右折。高見墓地（かつての主要産業であった浜坂針の振興に尽くした市原惣兵衛・登山家加藤文太郎の墓あり）や役場を左に見ながら進み、突き当りを左折。するとJR山陰線のレールが見える。
- 8 そのまま直進すると終点のJR浜坂駅。疲れた足を駅前足湯で癒すのもよし、まち歩き案内所で浜坂針の蓄音機で音色を楽しむのもよい。駅前商店で名産・浜坂焼きちくわを味わうのも面白い。



- 難易度：★★☆
- トイレ：JR浜坂駅、浜坂ポケットパーク、松の庭トイレ、加藤文太郎記念図書館、先人記念館以命亭、山陰海岸ジオパーク館
- アクセス：
  - ・電車：JR浜坂駅
  - ・車：加藤文太郎記念図書館、浜坂県民サンビーチ
- 問合せ：まち歩き案内所 松籟庵 TEL:0796-80-1126

距離(約)

**3** km